

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会 令和2年度事業計画

1 研修事業

- (1) 「みんなの幸せづくりをすすめる研究会（通称：ボヌール会議）」の開催
- (2) (新)新任職員フォローアップ研修の開催
- (4) (新)専門研修の開催（オンライン会議の開催方法、消毒の基本 など）
- (3) 支部研修実施の促進

※「第57回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会」は次年度に延期。

2 広報活動

- (1) 「職連協にゅ〜す」の発行（4回）
- (2) 茨城県社会福祉協議会内職連協ホームページの活用
- (3) 「茨城県内社会福祉協議会事業概要及び職員設置状況調査」の作成
- (4) 「茨城県内社会福祉協議会職員名簿」の作成・メール配信

3 支部活動活性化事業

- (1) 支部活動助成事業の実施
- (2) 支部長との連携
- (3) 支部運営委員への支援

4 福利厚生・互助事業

退会記念品の贈呈

5 他団体との連携

- (1) 関東ブロック社協職員の会連絡会との連携
- (2) 茨城県社会福祉協議会との連携
- (3) 茨城県民間社会福祉事業従事者互助会との連携
- (4) 茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会との連携

6 会務

- (1) 理事会の開催（4回）
- (2) 代議員会の開催（3回）
- (3) 監査の実施（1回）

○理事会・代議員会

(1) 第Ⅰ期（令和２年度）取り組み計画

職連協の周知

□職連協の周知

□会費のあり方の検討

□協議の場の設置検討→事務局長会や県社協との連携を検討

○職連協の設置目的や役割の理解

○現状課題の共有

□職連協の組織体制の見直し

○組織体制の簡素化

○委員会の新設→研修の企画は、第Ⅱ期(R3~R4) 「研修企画委員会」各支部１名

○役員の役割分担の明確化

社協職員フォローアップ研修

- ・採用２年目から採用５年目
- ・ボランティア保険について
- ・災害VCについて 瀧本さん

ボヌール研究集会

「ボヌール会議３年間を振り返り」

- ・「オール茨城」で取り組んでいくために、県内社協の実践事例を学ぶ。
- ・事例発表の機会が増え、社協職員としての人材育成につながる。
- ・「ボヌール研究集会」を職連協で企画運営することで、職員同士の連携が強まる。

茨城県全体の地域福祉推進につながる

- ・第１部 ボヌール会議まとめ
- ・第２部 分科会
- ・第３部 交流会

OA研修・SNS研修

- ・30代・40代 職員のいまさら聞けないPC研修
- ・エクセル・ワード・パワーポイント・スマホ活用講座
- ・水戸産業技術専門学院 等に講師紹介を頼む

コミュニケーションスキルの向上研修

- ・茨城県職業能力開発協会 等に講師紹介を頼む
- ・講師:那珂ヒューマンスキル研究所 先崎 武 氏